

家づくりのお宅訪問
interview with new home!

小さくて美しい住まいには
家づくりの本質が凝縮。

リビングのドアは造作、アンティークガラスを組み合わせてオリジナルでデザインしたものを。



Company Profile

株式会社 ハウスランド社
吉木事務所

福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL 092-922-8771
https://www.h-land.jp

●詳しい情報はP000に掲載

コンパクトでも吹抜けがあると開放感が生まれ、吹抜けがあっても断熱性と気密性が高ければエアコンもよく効く。過去には、もうちょっと性能を上げたほうがよかったです。でも思ってたこともある。そのなかで、実際に住んでみて、悪もサツシも断熱材も、これまで通りの性能が大事だと確認できた。「リビングの窓が大きい」とこだわらないうちも、目線よりも高い位置にたて窓をつくれたら、隣家との距離感が変わるし、採光も十分に確保できた。実際に住んでみて、自分たちが住んでみて実感したこと、これからの提案にも生かしていきたいと思っています。

コンパクトでも吹抜けがあると開放感が生まれ、吹抜けがあっても断熱性と気密性が高ければエアコンもよく効く。過去には、もうちょっと性能を上げたほうがよかったです。でも思ってたこともある。そのなかで、実際に住んでみて、悪もサツシも断熱材も、これまで通りの性能が大事だと確認できた。「リビングの窓が大きい」とこだわらないうちも、目線よりも高い位置にたて窓をつくれたら、隣家との距離感が変わるし、採光も十分に確保できた。実際に住んでみて、自分たちが住んでみて実感したこと、これからの提案にも生かしていきたいと思っています。



左、リビングのガイルとガーゴイルの組み合わせが大正ロマン風な家具調洗面台
右上、主寝室の天井はウレタン・モリスのグラス。クラシカルなモールディングを施した窓はスクリーンを下ろすと絵画のよう
右下、子ども部屋にはロフトをつけた



予算内で理想を叶えるコツは、こだわりの優先順位をつけること。自社で建てたのだから、てっきり大きな社員割引があるのだろうと思いきや「意外と社員がシビアで(笑)。ちゃんと予算内に収まるようにいろいろと工夫しているんですよ」と笑う。1階部分は床や壁の素材から家具や建具の造作までこだわりぬいた一方、2階の子どもの部屋は、既製品の建具やリーズナブルな床材を使うなど、コストのコントロールもゆめかりない。「家って、床面積が広くなるほどお客さまの要望は叶うんですけど、でも、予算もあるので、むやみに大きくすればいいというものではありません。建物を小さく抑えれば、素材や設備にこだわる余裕も生まれます。子育て世代のお客さまの家は、多くが30坪程度。私は小さな家づくりが割と得意で、限られた床面積を、できるだけ居住空間にしたいたいと考え、廊下やホールは極力小さくする間取りを提案するようになっています。お客さまからは、小さいけれど、美しい家で本当に満足しています。」と語っていただきました。実際には自分が暮らしてみて、十分満足できると自信がもてました。



主寝室のドアのステンドグラスは、結婚式を挙げたハワイのチャペルをモチーフにつくってもらったもの



カウンターは無垢の一枚板。鏡はイタリア製のアンティーク。具線の水栓やタオルホルダーがレトロな雰囲気を醸し出す